

平成 16 年 12 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成 16 年 10 月 28 日



上場会社名 住友ゴム工業株式会社

上場取引所 東大

コード番号 5110

本社所在都道府県 兵庫県

(URL <http://www.srigroup.co.jp/>)

代表者 代表取締役社長 浅井 光昭

問合せ先責任者 取締役常務執行役員 佐々木 保行 TEL (078) 265-3000 (代表)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高等の会計処理方法の最近連結会計

年度における認識の方法との相違の有無：有（一部簡便的な方法を採用しています。）

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況：無（平成 16 年 6 月中間期対比）

2. 16 年 12 月期第 3 四半期業績の概況（平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てている。

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | |
|-------------------|---------|-----|--------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 16 年 12 月期第 3 四半期 | 328,096 | 4.3 | 25,210 | 28.4 | 22,010 | 29.1 |
| 15 年 12 月期第 3 四半期 | 314,526 | - | 19,630 | - | 17,049 | - |
| (参考) 15 年 12 月期 | 450,490 | | 37,765 | | 34,872 | |

(注) 1. 売上高、営業利益、経常利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

2. 四半期業績の開示については、当期より実施しており、15 年 12 月期第 3 四半期業績は参考として記載。

(参考) 事業別セグメント情報

16 年 12 月期 第 3 四半期（平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

| | タイヤ事業 | スポーツ事業 | 産業品その他事業 | 全社及び消去 | 連結 |
|------|---------|--------|----------|--------|---------|
| 売上高 | 243,611 | 42,600 | 41,884 | - | 328,096 |
| 営業利益 | 14,758 | 9,308 | 1,161 | 18 | 25,210 |

15 年 12 月期 第 3 四半期（平成 15 年 1 月 1 日～平成 15 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

| | タイヤ事業 | スポーツ事業 | 産業品その他事業 | 全社及び消去 | 連結 |
|------|---------|--------|----------|--------|---------|
| 売上高 | 230,616 | 44,507 | 39,402 | - | 314,526 |
| 営業利益 | 14,281 | 7,000 | 1,562 | 88 | 19,630 |

(注) 売上高は、セグメント間の内部売上高を消去後の外部顧客に対する売上高を表示している。

当第 3 四半期までの当社グループを取り巻く経営環境は、天然ゴムをはじめとした原材料価格の高騰や為替の円高などにより厳しい状況となりました。そのようななか、当社は昨年 7 月よりスタートしました新体制のもと、グループの総力をあげて積極的な販売活動および原価低減に取り組んで参りました。その結果、当第 3 四半期の売上高は 328,096 百万円(前年同期比 4.3%増)、営業利益は 25,210 百万円(前年同期比 28.4%増)、経常利益は 22,010 百万円(前年同期比 29.1%増)となりました。

事業別には次の通りであります。

タイヤ事業は、売上高は市販用、新車用、輸出用のいずれもが前年同期を上回りました。営業利益は原材料価格高騰および円高の影響を受けたものの、堅調な需要に対応した設備増強の前倒し効果や製品価格の是正などにより、前年同期を上回りました。スポーツ事業は、ゴルフクラブ、3 代目 XXIO の販売が好調に推移しました。売上高は、前年下半期よりライセンスビジネスの売上計上方法を変更した影響により前年同期を若干下回りましたが、実質的には増収であります。営業利益もゴルフクラブの増販により前年同期を上回りました。産業品その他事業は、売上高、営業利益とも前年同期を大きく上回りました。欧州のベッド事業の販売が回復基調にあるうえ、昨年までに実施しましたリストラクチャリングの効果もあり利益面で大きく改善しました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は特に発生しておりません。

3. 16 年 12 月期の連結業績予想（平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）

16 年 12 月期の通期業績予想につきましては、平成 16 年 8 月 23 日に発表いたしました数値と変更はありません。

上記の業績予想は、当社および当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、当社および当社グループの事業をとりまく様々な要因の変化により、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。